

令和5年度

長原小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

自分の思いや考えを伝えて、主体的に学び行動する子どもの育成
～言語活動の充実をはかり、さらなる深い学びをめざして～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や校内研修、児童や保護者のアンケートにより、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○個別の指導や少人数での学習を重ねた結果、基礎的基本的な知識・技能の定着がはかれている。 ●時間の経過とともに、定着率が下がり、単元によって目標値に達していない児童がいる。	・当該学年での算数・国語・社会・理科における基礎的・基本的な知識や技能が身に付いている。 ・学習内容を正確に理解し、身につけた知識を6年間を通して定着させ、さらに生活の場面で活用することができる。	・教科ごとに、教師間で児童の課題について綿密に話し合いをもち、一人ひとりに適切な教科指導を行う。 ・Eライブラリーを活用する等、個別に学習できる場面を設定する。	教科によって児童の理解度に差が見られたので、教科ごとに知識の習得が徹底できるように、指導方法の工夫を図る。	・教科担任がそれぞれの児童の実態や課題について話し合いをし、教科指導に効果を上げることができた。 ・学習中や宿題等で、Eライブラリーを活用する場面を増やすことができた。	少人数を生かして、さらに一人一人の課題や目標を見つめ直し、ICT等の活用や人材活用を増やして、知識や技能の習得を図る。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを基本的な文型や話し方に沿って、順序立てて発表することができる。 ●自分の考えを相手に応じて分かりやすく伝えたり、相手の意見を聞いて新しい考えを想像したりすることができない。	・必要な情報を正確に聞き取り、根拠をもって自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 ・学習の習得・探究・活用の場面において、ICT機器等を適切に活用し、言語活動をより実践的なものに行うことができる。	・ICT等を活用し、自分と相手の思いや考えを比較したり、考えを深める機会を多く設ける。 ・「聞きたい」「伝えたい」という学習活動や交流学習等で表現する実の場を増やす。	ICT等を活用する前に、個人で深く考えたり、つぶやいたりする時間をしっかりと確保する。	・ICT等を活用し、考えをまとめたり、深めたりする場面を設けることができた。 ・交流学習や体験活動などで、表現する場や交流する場を多く設定することができた。	交流学習やオンライン学習、体験活動を通して、増やすことで、多様な考えや価値観にふれ、積極的に聞き、考え、交流する学習を増やし、思考力や判断力や表現力の伸長を図る。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分に必要な内容を考えながら家庭学習に取り組み、それぞれの課題を学ぶことができる。 ●自分が興味をもつ内容について、さらに深く学んだり、自ら課題を設定して計画的に意欲的に学習を進めたりすることができない。	・自分のめあてを明確にもち、より高い目標をもって主体的に課題に取り組むことができる。 ・自分の状況を振り返りながら課題と向き合い、計画的に解決策を考えたり、意欲的に課題に取り組めたりすることができる。	・ICT機器等を主体的に、持続的に児童が使うことで、自分の目標や課題を明確にし、より高い目標に挑戦することができるように支援する。 ・「振り返り」や「まとめ」の場面で、児童がタブレットを用いて、自分の課題に向き合う場面を設け、自分の考えをまとめたり、深めたりできるようにする。	学校行事や体験活動に追われて、児童の実態や目標を見失わないように、一人一人をしっかりと見つめて、児童が主体的に意欲的に学習に取り組めるように支援する。	・自分の目標を明確にして、主体的に活動に取り組む姿が見られたが、さらに自分から高い目標を設定して、主体的に取り組むまでには至っていない。 ・振り返りの場面で、考えをまとめることはできたが、タブレットを活用したまとめや振り返りについては不十分であった。	行事や体験活動が多くなることが予想される中で、一人一人が自分事として、じっくり考えたり、発言したりする時間をしっかりと確保して、自ら主体的に活動できるように支援する。

令和5年度 学力向上ロードマップ

